

# 汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきた

## 民泊受け入れ家庭を募集します!

地域の資源を活かし、産業の活性化を図るひとつの手段として、近年「体験型教育旅行」の需要が高まっています。南三陸町も恵まれた資源を活かし、将来に向け裾野の広い取組みが期待されているところです。

そこで南三陸時間旅行サポートセンターでは、町の受け入れ態勢を強化することを目的に、体験学習に伴う民泊受け入れ家庭の登録制度を実施します。ぜひこの機会に元気な子どもたちの受け入れを体験してみませんか?ご応募お待ちしております!



### 平成21年度 民泊受け入れ家庭の 条件および登録方法

- 原則として2泊3日の期間、子ども(小・中・高校生)の受け入れが可能である家庭。
- 滞在中1日は、農業または漁業の体験指導が可能である家庭。
- 体験活動や宿泊事業を推進する意思があり、積極的に受け入れをしていただける家庭。
- 1回の宿泊は4人を基本とし、1泊1人あたり5,000円程度が宿泊体験料として支払われます。
- 1軒につき年間1,000円の登録料をお預かりし、保険などの事務手続きはセンターが代行します。
- 既に民泊受け入れを実践している方も、改めて登録の手続きが必要です。
- 登録を希望される場合は、南三陸時間旅行サポートセンターまで直接ご連絡をお願いします。

★民泊事業についてのご質問などは随時受付しておりますので、南三陸時間旅行サポートセンターまでお問い合わせください。(☎47-2550)

★募集締め切り 3月31日(火)

### ～汐風カフェ・イベント情報～

お待たせしました!前回(11月～12月)に引き続き「汐風ミニイベントvol.2」がスタートします。この機会にぜひ地域の隠れた魅力を体験してみませんか?※初回は2月7日(土)です。それ以降の開催は毎週土曜日午前10時から正午を予定しております。イベント内容については南三陸時間旅行サポートセンター(☎47-2550)までお問い合わせください。

### 伊達な広域観光圏(教育旅行部門)推進事業 「教育旅行受け入れ人材育成研修会」

伊達な広域観光推進協議会では、長期滞在観光を促進するため、圏域の恵まれた資源を活かした教育旅行の受け入れ態勢の整備に力を入れております。つきましては、以下のとおり受け入れに関わる



方々のスキルアップを目的に研修会を実施します。ぜひこの機会に、いつもとは違った視点で地域資源の活かし方を学んでみませんか?

- ◇日時 2月13日(金)～14日(土)
- ◇会場 南三陸町一円(さんさん館・ひころの里・神割プラザなど)
- ◇対象 現在、体験学習など教育旅行受け入れ実践者及び将来的に受け入れを考えている方
- ◇内容 農業や漁業、地域の資源を活かした地域活性化方法など、先進的に実施しているエリアから講師をお呼びし、スクール形式で開催します。

- ◇講師
  - ・志賀 秀一氏(栃東北地域環境研究室代表)
  - ・吉川 由美氏(㈱タハプランニングワーク代表取締役)
  - ・三浦 均氏(㈱JTB東北団体旅行仙台支店)
  - ・出川 真也氏(NPO法人里の自然文化共育研究所専務理事)
  - ・菊池新一氏(NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク東北まちづくり実践塾塾長)

- ◇定員 30名程度(圏域内の実践者も含まれます)
- ◇申し込み 南三陸時間旅行サポートセンターまで直接お電話でお申し込みください。(☎47-2550)

## 庄内の風 ②8

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

### 庄内のおひな様に 会いにいらっしやいませんか?



庄内町亀ノ尾の里資料館では、2月25日(水)～3月30日(月)の期間、藩政時代に肝煎などを歴任した家柄である庄内町主殿新田の石川文右衛門家より寄贈された「ひな人形」を展示します。このひな人形の内裏雑は、外見から江戸時代後期の古今雛と思われる。また、次郎左衛門雛(※江戸時

代中ごろ、京都の人形師、雛屋次郎左衛門が作り出した雛人形。)もあることから、何回かにわけて購入したものと思われます。一緒に展示する「蘭亭曲水図(※中国東晋時代、会稽山の蘭亭に文雅の士が集まり、曲水に杯を流し詩を賦したという王羲之の故事に基づく画題)」は、石川家ではひな祭りの時に必ず掛けたといわれるものです。また、ひな人形の原型とも言われる人形(ひとがた)も展示します。余目地区では6月と12月に神社から各家々に配られ、家族全員の身のけがれや災いをその人形に移して神社に納め、神主がお祓いしたあとに、川に流す習慣があったそうです。現在は環境問題もあり焼却されています。

この時期は庄内地方だけでなく、山形県内各地でひな人形の展示を行っています。地域ごとの優美なひな人形がありますので、会いにいらっしやいませんか?

- ◆開催期間 2月25日(水)～3月30日(月)
- ◆開催場所 余目第四公民館ロビー
- ◆休館日 3月24日(火)
- ◆料金 無料
- ◆問い合わせ 庄内町亀ノ尾の里資料館(余目第四公民館内) 庄内町南野字十八軒2-1 ☎0234-44-2162

二〇〇九年は、丑年で、私は「年男」かつ「還暦」を迎える。元日の「河北新報」に、私と同年生まれで元プロ野球選手「マサカリ投法」で有名な「村田兆治」さんがメッセージを送っている。我が人生「先発完投」のタイトルだが、私も好きな言葉「青春」についてふれている。青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気にみちて日に新たな活動を続けているかぎり、青春は永遠にその人のものである。「人生八十年」といわれて

いるが、「青春」を座右の銘とし、生きてゆきたいと思う。私の趣味は「写真」。きっかけは、平成十二年三月、城洋新聞社の故佐藤貞道社長への志津川支店赴任の挨拶だった。佐藤社長は、私が潜在的に写真が好きなことをキャッチし、城洋新聞の新支店長の紹介コーナーで、「趣味は写真」と掲載。すると、あつという間に町内にニュースが流れ、私はあわてて、カメラを購入し、写真と付き合うようになった。翌年、「仙台・青葉まつりフォトコンテスト」に幸運に

「南三陸町」の魅力について、PRに努めたいと思います。話が変わって、昨年の暮れ、「おすばで買い物ツアー・カキDC号」の参加者の皆さんを仙台駅の改札前まで送ったが、見送りさせていただいた。皆さんの表情は、わくわくとした期待感で満ちていた。「南三陸町」の「海の幸・山の幸」は新鮮で美味しく、安全である。たくさん買い物をして、満足して、お帰りになったと確信している。これからも微力ながら、「南三陸町」の魅力について、PRに努めたいと思います。

### 夢大使 リレー通信 ③1



夢大使  
藤島 純七さん  
(仙台市)

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、七十七銀行志津川支店の元支店長で、アマチュア写真家としても活躍している藤島純七さんです。

### 「還暦」に思う

も「初入選」。五十の手習いながら、皆様のご指導の賜物で、目標だった「還暦」までに「六十回入選」を達成できました。次は、七十歳までに、「百回入選」を目指して、頑張りたいと思います。そして、いろんな方々との出会いを大切に、「素直な心」も持って生きたいと思う。「還暦」を迎え、このようなことを書けるのは、南三陸町の町民の方々の温かい人情のおかげと改めて、感謝申し上げます。